

巻頭言	阿部 治	<i>i</i>
はじめに	荻原 彰	<i>iii</i>
第1章 世界的動向	鈴木克徳	<i>1</i>
1. 持続可能な開発のための教育（ESD）の沿革		<i>1</i>
(1) 国連人間環境会議と人間環境宣言		<i>1</i>
(2) 国際環境教育プログラム（IEEP）		<i>2</i>
(3) ベオグラード会議とトビリシ会議		<i>4</i>
(4) 「われら共有の未来（Our Common Future）」における持続可能な開発 概念の提唱		<i>5</i>
(5) 国連環境開発会議（地球サミット／リオサミット）		<i>5</i>
(6) 人間開発のための環境・人口教育と情報（EPD）		<i>6</i>
(7) 環境と社会に関する国際会議（テサロニキ会議）と持続可能性のための 教育（EFS）		<i>7</i>
(8) 持続可能な開発のための世界首脳会議（ヨハネスブルグサミット）		<i>9</i>
2. 欧州を中心とする世界の高等教育機関の動向		<i>10</i>
(1) 持続可能な開発のための教育に向けた一連の宣言		<i>10</i>
(2) 高等教育世界会議（World Conference on Higher Education : WCHE）		<i>11</i>
(3) 持続可能性のための世界高等教育パートナーシップ（Global Higher Education for Sustainability Partnership : GHESP）の結成		<i>12</i>
(4) ウプントゥ宣言とウプントゥ同盟		<i>12</i>
3. 国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD）国際実施計画の策定		<i>13</i>
(1) DESD 国際実施計画（International Implementation Scheme : IIS）の 策定経緯		<i>13</i>
(2) DESD 国際実施計画（IIS）の概要		<i>15</i>

4. 国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD）の実施の進展	17
(1) 国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD）の開始式典	17
(2) 第4回環境教育国際会議（トビリシ+30）とアーマダバード宣言	19
(3) DESD 中間年会合とボン宣言	20
5. 国連や各国における DESD 推進活動	22
(1) 国連における DESD の推進	22
(2) 各国における DESD の推進	27
第2章 高等教育における ESD 実践—現代 GP の事例から—	32
1. 現代 GP について	荻原 彰 32
2. 学際的・総合的な学士課程教育としての ESD	松岡広路・朴木佳緒留・高尾千秋 34
(1) はじめに	34
(2) 神戸大学における ESD の目的と特徴	34
(3) ESD コースの推進基盤としてのヒューマン・コミュニティ創成研究センター	36
(4) カリキュラムと教育方法	39
(5) 実施体制	52
(6) 現代社会にうねりを生み出すための挑戦	55
3. 大学を地域に開く—高等教育におけるサービスラーニングとしての ESD—	荳川 智 58
(1) はじめに	58
(2) 双方向の情報ネットワークの構築	60
(3) GP 活動の内容	61
(4) 諸活動の問題点と課題	75
(5) おわりに	78
4. 共通教育で ESD 指導者を育てる	小林 修 79
(1) 愛媛大学環境 ESD カリキュラムの概要	79

(2) 「つながり」を意識したカリキュラムの理念	80
(3) カリキュラムの仕組み	83
(4) 資格の認定	91
(5) カリキュラムの運営組織	93
(6) 事業開始から3年間の成果と課題	94
5. 大学丸ごと ESD—岩手大学「学びの銀河」プロジェクト—	玉真之介 97
(1) はじめに	97
(2) 岩手大学における教養教育改革	98
(3) 「ESD という旗印」の提案	99
(4) 提案への反応	101
(5) カリキュラムの構造化と可視化	103
(6) 3つのウイング	105
(7) プロジェクトの成果	107
(8) プロジェクトの今後	108
(9) おわりに	110
第3章 教員養成大学での持続発展教育 (ESD)	小金澤孝昭 116
1. はじめに— ESD 活動の到達点と課題—	116
2. 学校教育と ESD (持続発展教育)	117
(1) 何が ESD・持続発展教育なのか	117
(2) 持続発展教育と学校教育	118
3. 教員養成大学での持続発展教育	121
(1) 社会貢献と大学	121
(2) 教員養成大学の ESD	123
(3) ESD・持続発展教育の学習プログラム	125
4. おわりに	132

第4章 高等教育におけるESD—今後の展望—	荻原 彰 134
1. ESDの理念と使命	134
(1) ESDを軸とした高等教育の再構築	134
(2) ESDビジョン—未来からの逆算—	136
(3) 持続可能な世界というビジョンと学際性の必然	138
(4) 足下を掘る—ローカルからグローバルへ、グローバルからローカルへ、 学問から問題へ、問題から学問へ—	139
(5) 地域に入る・地域を学ぶ—知をゆさぶる—	140
(6) 地域に関わる・地域を変える—協働とエンパワーメント、実践知の構 築—	141
(7) 教育から学問へ 価値中立から価値定立へ	143
2. ESDの課題	145
(1) はいまわるESD? (活動偏重への懸念)	146
(2) 地域との協働について	149
(3) 構造化されたフィールドワーク・ワークショップ	150
(4) 初等中等教育への関与	152
(5) アクション・リサーチ	153
(6) インターンシップ	155
(7) 学生の自主的活動	157